

022	すいか(ハウス)
-----	----------

1 前提

該 当 す る 地 域	県下全域
設定した経営規模	すいか(ハウス) 60a、すいか(大型・前進トンネル)60a、ストック30a、ブロッコリー60a
自 家 労 働	3 人
そ の 他	共同選果場を利用 鳥取型低コストハウスは補助事業活用(1/2補助)

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		△◎————□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、□トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種 類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割 合 (G)	自己資本 利 子 (f) × (G) × 利率
農具舎	木・瓦	50 m ²	3,300,000	29	942,857	942,857	15	62,857	8	440,000	50	8,800
鳥取型低コストハウス	6m×50m	20 棟	21,840,000	67	14,560,000	14,560,000	14	1,040,000	7	7,280,000	50	145,600
トラクタ	4WD 25ps	1 台	3,067,900	29	876,543	876,543	7	125,220	4	375,662	100	15,026
ロータリ	160cm	1 台	440,000	29	125,714	125,714	7	17,959	4	53,878	100	2,155
土壌消毒機	2条	1 台	468,600	40	187,440	187,440	7	26,777	4	80,331	100	3,213
動力噴霧機	可搬式6.3	1 台	280,390	29	80,111	80,111	7	11,445	4	34,333	100	1,373
運搬車	クローラ式4.2	1 台	361,900	33	120,633	120,633	7	17,233	4	51,700	100	2,068
マルチはぎとり機		1 台	222,200	40	88,880	88,880	7	12,697	4	38,091	100	1,524
普通トラック	1.5t	1 台	2,230,000	29	637,143	637,143	5	127,429	3	254,857	100	10,194
軽トラック	660cc	1 台	1,200,000	29	342,857	342,857	4	85,714	2	171,429	100	6,857
合計			33,410,990		17,962,179	17,962,179		1,527,332		8,780,281		196,811

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
すいか	春のだんらん・祭ばやしRG	ハウス	6,000kg	黒ぼく畑	60a

項目	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
作業名						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
土 壌 消 毒	12/中	ソイリーン (3年に1回)	30ℓ	トラクタ ロータリ 土壤消毒機	○土壤病害、センチュウ害の多い場合に に土壤消毒を実施する。	1.0 1.0	1 1	1.0 1.5	軽油 6.5 軽油 6.5
ハウス被覆	2/上				○ハウス被覆は、P O系使用の場合 5年に1回程度交換を行う。		3	12.0	
土壌改良資材 施用	2/上	発酵堆肥 セルカフレンド	2 t 140kg	トラクタ ロータリ	○改良資材を施用し、ガス抜きを兼ね て丁寧に耕うんする。	1.0	2	5.0	軽油 6.5
基 肥 施 用	2/中	MS 8 8 5 がいな有機 ダイアジノン粒剤	30kg 100kg 4～6kg		○定植の2週間前までに基肥を施用し、 耕うんする。 ○有機物の投入が多い場合は、ダイア ジノン粒剤4～6kgを定植部分 1 m幅 に土壤混和する。	1.0	2	3.0	軽油 6.5
整地・畦たて 除草剤施用	2/中	クマト乳剤	200ml		○整地後、除草剤を施用する。	2.0	2	6.0	ガソリン 2.0
マルチ・トン ネル	2/下	灌水チューブ	666m		○定植位置付近と、ハウスの端の中間 付近に灌水チューブを設置する。		2	2.0	
		透明マルチ	333m		○灌水を行い、床が湿った状態でマル チを張り、トンネル被覆を行い地温 を確保する (最低16℃以上)。		2	8.0	
		トンネル支柱	167本						
		トンネルビニール	333m						
定 植	3/上	西瓜苗 ダイヤキャップ	420本 420枚	軽トラック	○地温を確認後、植穴を切り、苗を植 え付け、ダイヤキャップを活着まで かける。	1.0	3	8.0	ガソリン 2.2
整枝・つる配置	3/下～4/中				○良くそろったつるを4本残す。草勢 を見ながら18節前後の雌花までに 2～3回つるの整理と配置を行う。 18節前後の雌花がつる先に見えた 頃に最終のつる引きを行う。		2 2 2	10.0 12.0 8.0	
換 気	3/中～5/下				○子づるが10cm程度伸びた頃より花 芽分化するので35℃以上の高温に長 時間遭遇しないように換気する。 ○交配までは日中の換気によりじっく り生育させる。 ○交配前後は保温に努め、着果・果実 肥大を進める。 ○肥大中期以降、草勢低下につながる 蒸し込みにならない温度管理を行う。 ○着果節位は草勢が整えば18節前後 で着果させる。 ○みつばちと人工交配を併用する。 ○交配日がわかるように、クレパスな どで色分けを行う。		2	15.0	
交 配	4/中～4/下	交配用みつばち クレパス	3 箱 10本		○果実が鶏卵大になった頃、形の良い そろったものを1株当たり2果残す。 ○交配後2～3週目頃にシートを敷く。 ○着果後、肥大期に灌水を行う。 ○収穫2週間前からは灌水は控える。		2	8.0	
摘果・玉直し シート敷き	5/中～5/下	シート	840枚				2	16.0	
灌 水	5/上			灌水装置			1	2.0	

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					燃 料 消費量 (ℓ/10a)
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
防 除	3/下～5/下	ベルコート水和剤 バレット207ロアブル ウララDF ダコニール1000 チェス顆粒水和剤 ロブラール水和剤 アトラコル顆粒水和剤 トリフミン水和剤 グレーシア乳剤 展着剤アグラー	200 g 125ml 125g 250ml 50g 250g 500g 60g 150ml 80ml	動力噴霧機 軽トラック	○病害は予防散布、害虫は発生初期の 防除に重点を置いた散布を行う。	12.0	2	16.0	ガソリン 12.0
収 穫	6/上～6/中			運搬車 普通トラック	○交配後50日前後を目安に検査をし て収穫する。	2.5 2.5	3	40.0	ガソリン 5.0 ガソリン 2.0
後 片 づ け	6/下			軽トラック	○茎葉は収穫終了後、早めに抜き取り 乾燥して焼却などして処分する。	2.0	3	16.0	ガソリン 2.0
合 計								189.5	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説 明
粗収益	主産物価額③	1,464,000	生産量①： 6,000 kg 単価②： 244 円/kg
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	副産物価額④	0	
	計 (A)	1,464,000	
生産費	生産原価	種 苗 費	76,923
		肥 料 費	47,735 使用資材等は技術体系のとおり
		農 薬 費	37,512 "
		諸 材 料 費	136,780 "
		動力光熱費	10,573
		農 具 費	16,445 機械負担価額×4%
		建物等修繕費	61,862 建物・構築物負担価額×1%
		賃 料 料 金	0
		共 済 掛 金	7,480
		雇 用 労 賃	0
		減価償却費⑤	254,555 別表のとおり
		土地改良費	3,094
		支払地代⑥	0
		小計 (B)	652,960
	販売費一般 管理費	出荷資材費	68,250
		販 売 諸 費	321,502
		諸税負担金	6,049 農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	2,689 農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	12,867 借入資本利率2%
		小計 (C)	411,356
	経 営 費 (D)		1,064,316 注) (D) = (B) + (C)
	家族労働費見積額 ⑧		254,800 農 従 労 働 時 間： 189.5 生産管理労働時間 6.5 1,300 円/時間
	支払利子・地代算入生産費(E)		1,319,116 主産物単位当たり 220 円/kg 注 (E) = (D) + ⑧ - ④
	自己資本	流動資本利子⑨	21,034 注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04
	利子(F)	固定資本利子	32,802 利率4%
	自 作 地 地 代 (G)		5,314
	全算入生産費 (H)		1,378,266 生産物単位当たり 230 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)
所 得 (I)		399,684	時間当たり 2,039 円 注) (I) = (A) - (D)
所 得 率 (J)		27	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100
農企業利潤 (K)		85,734	注) (K) = ③ - (H)
家族労働報酬 (L)		340,534	時間当たり 1,737 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)
農業資本利潤 (M)		144,884	注) (M) = (I) - ⑧

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
土壌消毒																																2.5		2.5			
ハウス被覆				12.0																													12.0				
土壌改良資材施用				5.0																													5.0				
基肥施用					3.0																												3.0				
整地・畦づくり					6.0																												6.0				
除草剤施用、マルチ・トンネル						10.0																											10.0				
定植							8.0																										8.0				
整枝・つる配置								10.0	12.0	8.0																							30.0				
換気								1.0	2.0	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	1.0																		15.0				
交配											4.0	4.0																					8.0				
摘果・玉直し・シート敷き													8.0	8.0																			16.0				
灌水												2.0																					2.0				
防除									4.0		4.0		4.0		4.0																		16.0				
収穫																30.0	10.0																40.0				
後片づけ																		16.0															16.0				
計	0.0	0.0	0.0	17.0	9.0	10.0	8.0	1.0	16.0	14.0	18.0	7.0	8.0	10.0	13.0	30.0	10.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	189.5			

生産管理労働時間

(6.5)